



なぜ公的年金制度が 必要なのだろう

公的年金制度ってなんだろう

皆さんも「年金」という言葉は聞いたことがあるのではないのでしょうか？

一般に「年金」といえば、国などの公的機関が運営する「公的年金」を指します。

日本の公的年金には、まず、20歳になったら国民の誰もが加入する「国民年金」があります。さらに、会社員や公務員などは、国民年金に加入すると同時に厚生年金保険や共済組合などに加入します。

もしも公的年金制度が なかったら・・・

公的年金のもっとも大きな役割は、老後の生活を支えることです。

もしも公的年金制度がなかったら、私たちの老後の生活はどうなるでしょう。

自分の子に経済的に頼るか、老後に備えて若いと

きから貯蓄しておくなど個人の自助努力で対応していくしかありません。

しかし、こうした「私的扶養」は、「何歳まで生きるかわからない」「少子高齢化・核家族化が進んでいる」「遠い将来の物価や生活水準の変動は予測できない」などの理由により限界があります。

公的年金は 「世代と世代の支え合い」

「私的扶養」が困難になってきている中で、長い老後生活を安心できるものにするためには、社会全体で高齢者を支える「世代間扶養」が必要不可欠です。このような考え方のもと、公的年金制度があるのです。

公的年金制度は、現役世代が高齢世代を支え、今の現役世代が高齢者になったときには、次の世代が支えるという、「世代と世代の支え合い」の仕組みで成り立っています。

**社会保険料控除に
証明書が必要です**

国民年金保険料は、納付した全額が所得税・市町村民税などの社会保険料控除の対象となります。

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合は、今年1年間に納付（納付見込みを含む）した国民年金保険料を証明する書類の添付が必要です。

このため、生命保険会社などが発行する控除証明書と同様に、1年間に納付した国民年金保険料の額を証明する「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書（ハガキ）」が、社会保険庁から毎年11月初旬に送付されます。

証明内容は

- 本年1月から10月2日まで納付された国民年金保険料額
- 年内に納付が見込まれる場合の納付見込み額です。

納付忘れなどがある場合も、年内に納付すれば、今年分の控除として申告することができます。

年の途中から国民年金に加入した場合など、10月3日以降に今年初めて保険料を納付する人は、翌年2月初旬に同様の証明書が送付されるので、結果

**年末調整や確定申告には
社会保険料控除証明書を**

的に、平成18年中に国民年金の保険料を納付した人全員に、この証明書が送付されます。

年末調整、または、確定申告の手続きの際は、必ずこの証明書や領収書を添付してください。

**家族の保険料も
納めている人は？**

国民年金保険料は、被保険者本人だけでなく、その世帯の世帯主および配偶者も連帯して納付する義務があります。

世帯主、または、配偶者として家族の国民年金保険料を納付した場合は、その納付額の全額が納付した人の所得税などの控除対象となります。

このような場合は、年末調整などの手続きの際に、自分の社会保険料の額と合算して申告してください。

このとき、家族分の証明書も申告する人の申告書に添付などする必要があります。

不明の点は、社会保険庁から送付される「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている問い合わせ先で確認してください。

● 社会保険庁ホームページ
<http://www.sia.go.jp/>

8月17日(木)第10回 船越義珍杯少年世界空手道 選手権大会で7位入賞

船越義珍（ぎちん）杯少年世界空手道選手権大会がオーストラリア・シドニー市のシドニーオリンピックパーク内スポーツセンターであり、菊池市から12歳男子形の部に岩永直也くん（菊池北小6年・拓魂塾所属）が出演し、7位入賞を果たしました。

昨年の全国大会でベスト8に入った選手が出場できるもので、世界から集まった強豪34人の中で大健闘しました。

岩永くんは「外国人はとても強くて緊張したけど入賞できてうれしいです」と話してくれました。

今後の活躍が期待されます。



世界大会で7位入賞を果たした岩永くん

9月4日(月)全国高校総体での優勝を報告

8月に近畿地方で行われた「全国高等学校総合体育大会～06 総体THE 近畿～」で優勝した菊池高校3年生の2人が、その報告に福村市長を訪れました。

訪れたのは、ボクシング・バンタム級で優勝した吉村宝くんと、柔道・男子個人60キロ級で優勝した金子晃士くんで、2人が大会結果を報告すると、福村市長が「おめでとうございます。特技を活かしてこれからも頑張ってください。そして、一緒に菊池の名も高めてください」と激励しました。

吉村くんは「優勝をねらっていたのでうれしかったです。これからの進学にもボクシングを活かしていきたいです」と、金子くんは「優勝できるとは思ってなかったのびっくりしました。これからの進学にも柔道を活かしていきたいです」と話してくれました。

同校の生徒が全国高校総体で優勝したのは初めてで、8月27日には両部の保護者会や同校などが主催する祝勝会も菊池市内のホテルで行われました。



ボクシングの吉村くん（左）と柔道の金子くん（右）

9月6日(水)戸別訪問で下水道をPR

9月10日の「下水道の日」を前に、菊池市下水道組合員や市職員などが「設置可能な場合は、なるべく早く下水道本管へつなぎ込みをしてください」と啓発チラシなどを配りながら菊池市内の対象家庭を訪問し、下水道への接続PRを行ないました。

菊池市役所玄関前であった出発式では、松本修治組合長が「事故などがなく、しっかりと下水道のPRをしてください」とあいさつし、早速、委員たちは5班に分かれて菊池市内の対象家庭の訪問に出発しました。

この戸別訪問は、昨年に続いて行われました。



菊池市役所玄関前であった出発式

9月13日(水) 子どもの避難所タクシー出発式

子どもの避難所タクシーの出発式が市役所玄関前であり、市内5社のタクシー運転手や関係者など約30人が出席しました。

これは犯罪から身を守るため、万一の場合にタクシーに子どもたちが駆け込み、安全な場所まで送り届けるというものです。その際の運賃はそのタクシー会社が負担し、もしお客さんを乗せていても協力を求めます。

出発式では、5社を代表して竹下智博さん（きくち観光タクシー社長）が「24時間営業と無線を利用した機動力を、この取り組みに生かしていきたいです」と決意を述べ、後方のドアに黄色いステッカーを貼ったタクシーが早速営業に出発しました。



「子どもあんぜんバトロール」と書かれたステッカーを貼るタクシーの運転手